

滋賀県公安委員会定例会議会議録等

第1 日時

令和5年10月19日（木）午後1時30分～午後4時10分

第2 出席者

1 公安委員会

大塚委員長、高橋委員、北村委員

2 県警察

中村本部長、尾張警務部長、野村生活安全部長、野崎刑事部長、船越交通部長
長警備部長、山口首席監察官、川口学校長、森田情報通信部長

第3 議事の概要

1 協議事項

警察職員等の援助要求について

長警備部長から、警察職員の援助要求について説明があり、協議の上、原案のとおり決裁した。その際、各委員から「他県と連携した訓練となるので、本番を見据えた有意義な訓練となるように取り組んでいただきたい。」旨の発言があった。

2 報告事項

(1) 令和5年度第2四半期の監察実施状況について

山口首席監察官から、令和5年度第2四半期の監察実施状況について報告があった。その際、高橋委員から「公安委員会として警察を管理する上で監察の立会は重要な業務であり、今後も計画的に監察への立会を実施させていただきたい。」、北村委員から「引き続き、的確な監察を実施し、不適切事案の未然防止に努めていただきたい。」、大塚委員長から「マンネリ化しないように引き続き、監察項目を絞った効果の高い監察を実施していただきたい。」旨の発言があった。

(2) 捜査支援分析課発足後の活動状況について

野崎刑事部長から、捜査支援分析課発足後の活動状況について報告があった。その際、高橋委員から「成果を出している結果が支援要請の増加につながっているので、今後の更なる活躍に期待したい。」、北村委員から「新しく、また、より高度な捜査力が求められており、一層の研鑽をお願いしたい。」、大塚委員長から「最新のシステム等が導入されることによる捜査員の負担軽減に期待したい。」旨の発言があった。

(3) 令和5年秋の全国交通安全運動の取組結果について

船越交通部長から、令和5年秋の全国交通安全運動の取組結果について報告があった。その際、各委員から「警察の総力を挙げて取組を行っている中、飲酒運転で検挙される方がいることを残念に思う。県民により高い交通安全意識が醸成されるように、引き続き、各種の取組に尽力いただきたい。」旨の発言があった。

第4 個別報告・決裁関係

1 報告事項

監察官室から、警察活動の課題などについて報告があった。

2 決裁関係

(1) 運転免許行政処分について

警察から、運転免許取消対象事案等について、事案の内容並びに意見聴取及び聴聞の結果の報告を受け、協議の結果、10件について行政処分を決定した。

(2) 犯罪被害者等給付金支給裁定について

警察から、犯罪被害者等給付金支給裁定について説明があり、協議の上、原案のとおり決裁した。

(3) 自動車運転代行業の業務の適性化に関する法律に基づく行政処分(認定取消)に係る聴聞の申出について

警察から、自動車運転代行業の業務の適性化に関する法律に基づく行政処分(認定取消)に係る聴聞の申出について説明があり、協議の上、原案のとおり決裁した。

(4) 警察職員等の援助要求について

警察から、警察職員等の援助要求について報告があり、これを了承した。